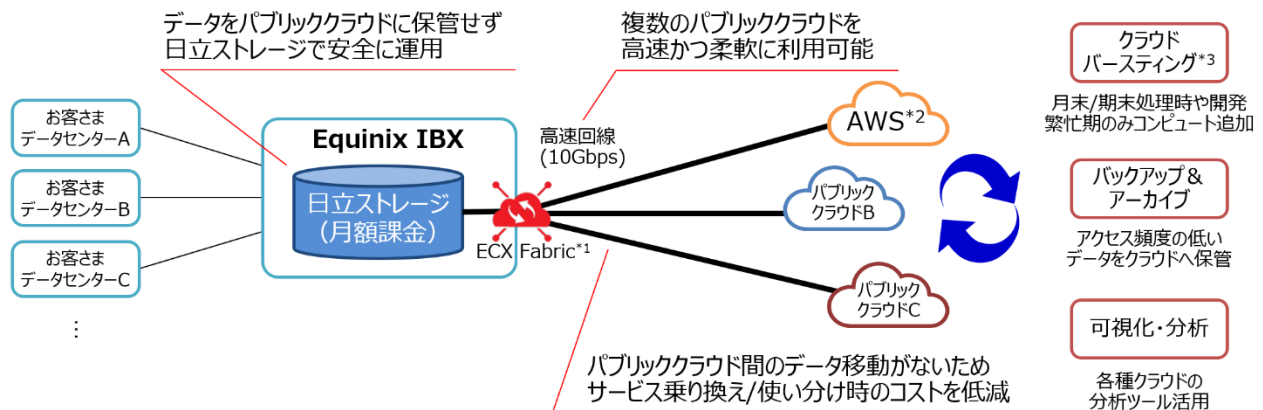


お知らせ

2020年1月28日

パブリッククラウドとの高速通信が可能な 高信頼プライベートクラウド環境を提供する 「ストレージボリューム提供サービス on Equinix IBX」 を販売開始

株式会社日立製作所（以下 日立）は、このたび、Equinix, Inc.社のデータセンター（Equinix® International Business Exchange [IBX®] データセンター、以下 Equinix IBX）を活用し、パブリッククラウドとの高速通信を可能とする高信頼なプライベートクラウド環境を提供する「ストレージボリューム提供サービス on Equinix IBX」を1月31日より販売開始します。



「ストレージボリューム提供サービス on Equinix IBX」

*1 ECX Fabric™（Equinix Cloud Exchange Fabric™）：Equinix 社が提供する Software Defined Network で、複数のクラウドプロバイダーに相互接続可能なネットワーク環境提供サービス

*2 AWS: Amazon Web Services

*3 クラウドバースティング：コンピューティングリソースの需要が極端に高まったピーク時に、計算処理をクラウド上のリソースに迅速に切り替えることを可能にするもの

企業や組織が保持するデータは日々増加し、月次や期末、開発繁忙期などのデータ処理量も増え続けています。これらのピーク時の処理量に合わせた IT インフラの維持・強化には多大なコストが掛かるため、それを少しでも抑えたいというニーズが高まっています。日立はお客さまのデータセンターに設置した日立資産の IT インフラを従量制の月額課金で提供するサービス*4を提供し、IT インフラコストの低減に貢献しています。

また、各社が提供する多様なパブリッククラウドサービスの、コンピューティングリソースの一時的な利用やストレージリソースを活用した適材適所のデータ保管による IT インフラコストのさらなる低減や、最新のデータ可視化・分析ツールを活用したデジタルイノベーション実現への期待も高まっています。しかしながら、これまで自社のデータセンターでデータを保持・運用してきたお客さまを中心に、データの信頼性や可用性の維持に対する懸念からパブリッククラウドサービスの導入に踏み切れないという課題が顕在化してきています。

*4 「IT 基盤ユーティリティサービス」として提供

このような課題を解決するため、日立はデータを高信頼なプライベートクラウド環境に保持しつつ、AWSをはじめとしたパブリッククラウドのコンピューティングリソースやアプリケーションのみを利用可能にする「ストレージボリューム提供サービス on Equinix IBX」を新たに提供開始します。具体的には、パブリッククラウドと高速回線で接続された Equinix IBX に日立資産のストレージを設置し、リソースを使った分だけ月額課金でお客さまに提供します。本サービスでは安全性や堅ろう性に優れた日立資産のストレージにお客さまのデータを保持するため、高いデータの信頼性や可用性を維持しながらデータ処理量が増加している期間のみパブリッククラウドのコンピューティングリソースを柔軟かつ適切なコストで利用できます。また、クラウドに出せるようになったデータを即座にパブリッククラウドのストレージに移動できるため、適材適所で適切なコストでのデータ保管が可能になります。さらに、利用するパブリッククラウドサービスの切り替えの際にクラウド間のデータ移動が不要になるため、切り替えコストを大幅に低減し、複数のクラウドサービスの最新の可視化・分析ツールの柔軟な使い分けを容易にします。

本サービスと従来から提供しているオンプレミスの IT 基盤サービスやパブリッククラウドの設計・構築・運用サービスを組み合わせることで、高い信頼性・可用性が求められるデータをさまざまなクラウドサービスから柔軟に利用できるマルチクラウド環境の迅速な設計・構築から運用までをフルマネージドサービスとして提供します。日立のデータセンター（横浜／岡山）と接続し、オンプレミスや高信頼な日立クラウドとのハイブリッドクラウド環境も提供可能です。

このようにハイブリッドクラウド・マルチクラウド環境での高信頼でシームレスなデータ利活用環境の提供により、データの価値を高め、お客さまのデジタルトランスフォーメーションに貢献します。

日立は今後も Lumada 事業を支えるデジタル IT インフラ基盤として、ビジネスの状況に応じて高信頼で柔軟なデータ利活用を支援する IT インフラ製品・サービス群を順次拡充していきます。

「ストレージボリューム提供サービス on Equinix IBX」の特長

1. 高いデータアクセス性能を実現しながら、複数のクラウドサービスの使い分けが容易

Equinix IBX は各種のクラウドやキャリアと幅広い相互接続性を有しており、国内のみならずワールドワイドでも活用が進んでいます。パブリッククラウドとの高速接続に強みを持ち、さまざまなクラウドの迅速な利用開始が可能です。Equinix IBX に設置した日立の高性能フラッシュストレージにデータを格納し、パブリッククラウドから高速回線を通じてデータを利用することで、高いデータアクセス性能を実現しながらも、利用するクラウドサービス切り替え時のクラウド間のデータ移動は不要になります。これにより、クラウドサービスの切り替えコストを抑え、複数のパブリッククラウドが有する最新の可視化・分析ツールを柔軟に使い分けを容易にします。

2. 高信頼性・高可用性を維持しながら、適材適所で適切なコストでのデータ保管や利用を促進

重要なデータは安全性や堅ろう性に優れた日立のストレージで保持し、使用頻度の少ないデータはパブリッククラウドのストレージリソースに保管するなど、適材適所で適切なコストでのデータ保管を可能にします。また、通常はデータセンター内のサーバで処理を行い、繁忙期にはパブリッククラウドのコンピューティングリソースを素早く活用するといったことも可能です。このように、日立のストレージを活用した高信頼なプライベートクラウド環境を Equinix IBX 内に構築することで、信頼性や可用性を維持しながら、パブリッククラウドの併用

による IT インフラコストの最適化を図ることができます。さらに従量制の月額課金でストレージリソースを利用できるため、初期費用をおさえて投資コストの平準化やデータ量の増加にも柔軟に対応できます。

本発表に関するパートナー企業さまからのコメント

エクイニクス・ジャパン株式会社 セールス シニアディレクター 倉田 修 氏

日立の「ストレージボリューム提供サービス on Equinix IBX」の提供開始を歓迎致します。さまざまなクラウドサービスの拡充に伴い、これまで、データの信頼性、堅ろう性などの観点からクラウドサービス利用が進んでいなかった機密性の高いデータに対しても、クラウドサービスを利用したいというお客さまの声が増えてきています。このたび提供開始される「ストレージボリューム提供サービス on Equinix IBX」は、日立の高信頼なデータ基盤に格納されたデータを、Equinix の相互接続拠点を經由して、Amazon Web Services をはじめとするマルチクラウドサービスを安全かつ高速に利用できる環境を実現します。本サービスで、より多くのお客さまのクラウドサービス活用が加速し、業務効率改善や新規ビジネス創造を強力に加速すると確信しています。

「ストレージボリューム提供サービス on Equinix IBX」の

価格と提供開始時期

名称	概要	価格(税別)	提供開始時期
ストレージボリューム提供サービス on Equinix IBX	パブリッククラウドとの高速通信が可能なプライベートクラウド環境を提供	個別見積 ^{*5}	2020年 1月31日～

*5 マルチテナント型のボリューム提供の他、専有型のストレージの提供も可能（いずれも割り当て容量に対する月額従量制）

関連ウェブサイト

<https://www.hitachi.co.jp/storage/solution/nearcloud/>

商標注記

- Equinix®、IBX®、Equinix Cloud Exchange Fabric™および ECX Fabric™は、Equinix, Inc.の登録商標または商標であり、当社はライセンス契約に基づいて使用しています。
- Amazon Web Services および AWS は、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

お問い合わせ先

株式会社日立製作所 サービス&プラットフォームビジネスユニット IT プロダクツ統括本部
お問い合わせフォーム : <http://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/>

以上